

# 製造販売権を得た有害獣撃退装置の 販路開拓や量産に向けて支援

## 課題

### 業績悪化を補うとともに 社会貢献の新規事業に挑戦

宮城県南部の太平洋沿岸に位置する岩沼市に創業した小野精工株式会社は、金属プレス・金型製作部門、治工具製作部門、精密加工部門の3事業部体制で、精密機械部品および関連部品の製造を行っている。

金属プレス・金型製作部門では、自動車部品や工業用部品などを生産。治工具製作部門のおもな取引先は産業用機器メーカーで、多品種小ロットの加工、試作品の製作を担う。精密部品加工部門は、半導体製造装置などの部品を製造しており、3事業部は連携を取り合い、部品ひとつから試作品、量産、難加工材まで、取引先の高度化、多角化するニーズに対応し、高い技術力で堅実に経営を続けてきた。

しかし、この四半世紀はバブル崩壊に始まり、リーマンショック、円高による大手企業の海外移転、さらには東日本大震災による経営環境の悪化には抗えず、震災後の同社の受注は30%以上の減少となった。

震災は、人的被害や浸水被害だけでなく、住民の生活にも影響をもたらした。野生動物による獣害である。震災後、周辺で有害獣による人や農作物への被害を目の当たりにするようになったのだ。

そんなとき、同社の会長は有害獣撃退装置の実用新案を保有する発明家と巡り会った。レーザー光を照射して有害獣を撃退するという画期的な装置だ。装置の製造販売権を取得し、事業実施に向けてのマイルストーン設定を、岩沼市商工会に相談した。

## 支援

### 新規事業と既存事業の高度化で 企業価値の向上を実現

商工会が事業計画の策定に向けて、全国の有害鳥獣被害の状況を確認したところ、その農産物の被害額が年間およそ200億円にのぼるばかりか、営農意欲の減退や耕作放棄地の増加など深刻な影響をおよぼしていることがわかった。

こうしたことから、従来の電気柵や音を使う方法より設置や管理、人的コストが軽減されるという強みのあるこの装置が農家の助けになればと、量産化を決定。試作や改良、モニター調査を繰り返して製品化。「逃げまるくん」を開発した。

商工会ではその後も、改良、コスト削減、販売方法や販路



製品化した有害獣の撃退装置「逃げまるくん」

についての検討を支援している。

この有害獣撃退装置「逃げまるくん」の売り上げは現状、同社の全売り上げの1%程度だが、メディアで取り上げられたことで同社の知名度がアップし、既存部門の受注につながるといった効果も見られた。

既存事業においても、今後の主力事業となる精密部品加工部門に設備を導入し、人材育成計画を策定した。

新事業では社会的課題の解決をはかる製品を提供する企業として、既存事業では技術の高度化を図ることによって、両輪で企業価値を向上させる結果につながった。

#### 支援の経過

期間	支援内容
H27年6月～	ものづくり補助金の申請支援
H30年1月	経営革新計画の策定支援（3月承認）
4月	ものづくり補助金の申請支援

#### 会社概要

会社名：小野精工株式会社  
住所：宮城県岩沼市相の原3-4-9  
電話番号：0223-22-3104  
URL：<http://www.onoseiko.com>  
代表者名：代表取締役社長 小野和宏  
創業年：昭和21年  
従業員数：35名  
商工会名・担当者名：岩沼市商工会・小嶋誠